

12月定例会

陸別町議会12月定例会は、12月10日から11日まで、2日間開かれました。今定例会では、条例案8件、補正予算案6件を可決し、閉会しました。

陸別町銀河の森コテージ村使用料改定

陸別町銀河の森コテージ村
設置条例の一部を改正する
条例を可決

銀河の森コテージ村の使用料等について、最近の諸情勢に対応するため、令和7年4月1日から改正する。

6人用コテージの半地下タイプ2棟については、構造上許可申請においても、定員が8名となっているため、現状と整合性を図り8人用コテージとする。

10人用コテージは繁忙期3万3千円を3万8千円、通常期3万円を3万4千円に、8人用コテージは繁忙期2万2千円を2万8千円、通常期2万円を2万4千円に、6人用コテージは、ログタイプ、在来タイプ共に繁忙期2万円を2万4千円、通常期1万8千円を2万1千円に改正する。

また、使用時間についても、これまで午後1時からとしていたものを、午後3時からに改正する。

条例改正質疑

Q 料金の値上げについては、諸情勢、燃料費の高騰により仕方ないと思うが、値上げによる利用率の低下も考えられるが考慮しての設定なのか。

また、利用者が利用料金や設備等に関して意見や感想を述べる手段はコテージ内に用意しているのか。

平日の利用に向けて、今後新たに利用促進を促す手法は考えているのか。

A 一人当たり400円から500円程度の値上げと

いうことで、これまでに利用していただいていた方には、値上がり感はあると思うが、他市町村の同様施設等の金額も考慮して、受入れが可能な金額で設定している。

施設内に利用者の



▲ 銀河の森コテージ村

声を聞くノートを設置しており感想等が書いてある。施設については好評で良い感想が多く見られ、銀河の森の自然環境全般を背景に、利用者から満足していただいている。

今後天文台や星空の魅力、自然の魅力等を上手く情報発信していきたいと考えている。

※通常期に町民が利用する場合は、1日につき3千円の割引が受けられます。

一般質問

12月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

陸別町の未来に向けての戦略とは バイオガスプラントの副産物を考える

工藤 哲男 議員

問 国立社会保障・人口問題研究所は、2060年の陸別町の総人口を886人と推計している。陸別町「人口ビジョン」では総人口1千550人を指す目標であり、達成を目指す戦略を「第2期総合戦略」として数値目標を立て進行中であるが、進行状況は計画通りなのか。

また、令和7年に更新する「総合戦略」には町長の公約である「まちなか再生プロジェクト」を前面に打ち出して進める考えはあるのか。

「第2期総合戦略」では10年後の2035年の総人口2千人台を目指しているが、少子高齢化が進む状況下で10年後の陸別町の将来像を伺う。

町長 「第2期総合戦略」の進行状況は、「雇用

創出」は順調だが林業作業員の減少による事業量減少が見られる。「新しい人の流れ」は転入と観光者数が目標達成は困難。「結婚・出産・子育て」に関しては出生数・婚姻数では目標値を下回るが、保健・保育・教育の目標は達成できている。

人口減少は想定より早いと思うが2060年1千550人を指し取り組んでいく。

「第3期総合戦略」は令和7年3月末までに検討委員会と協議し、北海道の戦略と連携して策定する。公約の「まちなか再生プロジェクト」は現在、意見交換中で他町の首長の意見も聞いているが、プロジェクトを総合戦略に盛り込むことは考えていない。2035年への将来像は他町の事例も

参考にするが現在、事業承継、地域おこし協力隊、スマートメーター等、陸別町独自の取り組みを今後も進めていく。

物価高騰の折、メリハリのある予算と町民の意見を聞き他町連携、交流人口と関係人口を増やし、「小さな町だからできる町づくり」を目指す。

問 道内でも最大規模の陸別町のバイオガスプラントは順調に売電されており、副産物として発生する消化液と残渣（絞りがす）は有機肥料として利用している。運賃の高騰で決して安いものではないが運賃コスト低減対策は考えているのか。

また、プラントからは多くの副産物があり収入増を考え消化液、残渣を成分公表し、有機肥料として商品化し攻める気持ちで町内、他町の畑作農家へ販売も考えるべきではないか。

町長 運賃については、現在、収集等の業務は委

託しており、費用の圧縮は難しい。更に当初の料金無料を構成員の理解を得て一頭当たり2万7千円を負担いただき、町4千万円、農協2千万円の補助と町から運転資金1億円を貸付しているが、現在、構成員から苦情は聞いていない。収入が限られているので経費削減は構成員・農協と更に協議の上進めたい。

また、消化液は、現在、肥料登録の申請中である。消化液は構成員利用が前提であり、他への安定販売は量の面で整理が必要である。バイオガス事業は更に研究をしていきたい。



▲ 副産物として発生した残渣（絞りがす）

ここが聞きたい



ふるさと納税の現状と今後の対策 担い手不足対策について

濱田正志 議員

問 総務省がまとめた2023年のふるさと納税現況調査結果によると、

十勝管内全体のふるさと納税額は、前年度比2・4%増の77億円となっている。陸別町は1千140万円の納税額で十勝管内では最下位である。

ふるさと納税は、独自財源として使えることから、各町村が使用目的や用途を決めて活用するため、様々な力を入れているのが現状である。

当町では、ふるさと納税の協力事業者となっている1事業所が、今年度で廃業したこともあり、今後、ふるさと納税額の減少が見込まれる。

当町でも新商品を色々開発していく必要があると思われる。また、商品は、事

業者が作らなければできないという側面が非常に大きいところである。

新たな商品づくりを今後行っていくため、商品作りの補助金等の拡充や今後のふるさと納税の拡大に力を入れる考えはあるのか伺う。

町長 2022年度は、1千185万円、2023年度は1千140万円と、45万円の減となっている。独自財源として使えるため、各自自治体が入れているのは、その通りである。

町でも考えていることはあり、十勝管内最下位の金額面も何とかしたいと思っている。

商品開発等は、やはり町民や事業所に力を借りながらやっていくことがベストなことである。

補助金等も事業所等とこ

コミュニケーションを取りながら、使いづらい等ご意見があれば柔軟に対応していきたい。

問 担い手不足対策であるが、昨今、日本全国で担い手がない、働き手がいけないなどの人材不足の声が上がっている。陸別町でも外国人労働者に頼らざるを得ない事業者も多くあるのが現状である。しかし、何年かするといなくなる可能性が高いということが現状であり、担い手不足というのは、今後、陸別に住み続けていただけるといふ部分も含めて考えていかなければならない。

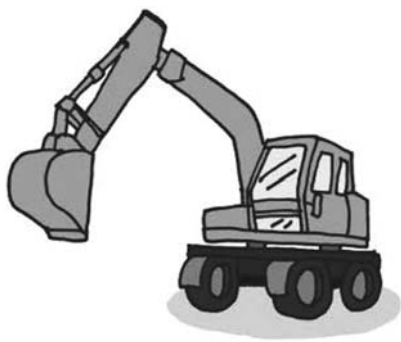
当町では、求人広告の補助や、町内求人無料掲載などがあるが、担い手対策の一環として、民間企業へ特殊自動車運転免許取得などの補助を拡充する考えはないか伺う。

また、消防団向けには消防庁より免許取得の費用が助成される仕組みもあるが

今後活用する考えはあるか伺う。

町長 陸別町には人材確保対策事業と地元雇用促進事業というのがあり。この補助金を上手に活用いただければと思っている。新たな対策を考えていないという訳ではないが、人材確保に係る対策は必要なことだという認識は議員と同じだと思うので、各団体と意見交換等しながら情報収集していきたい。

消防団のことについても、幹部の皆さんと意見交換を行い進んでいきたい。



冬季生活支援の増額と

マイナ保険証について

谷 郁司 議員

問 現在の冬季生活支援事業を始めた令和2年の灯油代は1ℓ当たり84円で、現在は1ℓ当たり120円と実に140%の値上げとなっている。これから厳冬期を迎えるにあたり増額や子供のいる課税世帯に支給の拡大としては。

町長 冬季生活支援事業は、価格変動に関わらず1万円を支給する事業である。昨今の物価高騰対策とは分けて考えており、国も重点支援地方交付金ということとで低所得者向け給付金を今後予定しているため情報を精査し進めたい。現時点で冬季生活支援事業の増額は考えていない。

問 健康保険証の更新時は、毎回被保険者に送付され何も問題がなかった

が、マイナンバー制度が始まりマイナ保険証の取得は任意であると言われてきた。しかし令和6年12月2日で既存の健康保険証の更新が廃止された。当町のマイナ保険証の実態で、マイナンバーカードの取得率、マイナ保険証の登録数・利用率、マイナ保険証を持たない人や持っていない人も有効期限切れの人への資格確認証発行数及び資格情報のお知らせ数は。

町長 マイナカード取得率は、11月30日現在で2千159人中1千792人、83%。マイナ保険証登録数は、9月30日現在、国保で507人中257人、50.27%、後期医療で518人中250人、48.3%。マイナ保険証の利用率は、登録しているも病院にかかっ

ていなく利用していない人も含むが、国保で507人中128人、25.2%（※登録者利用率は、49.8%）、後期医療518人中115人、22.2%（※登録者利用率は、46.0%）。マイナ保険証を持たない人は、現在の保険証のまま使用できるが、令和7年7月31日までに資格確認証を随時発行する。

また、後期高齢者は、マイナ保険証の有無に関係なく資格確認証を全員に発行する。マイナ保険証を持っている人は、資格情報を令和7年8月までに随時交付する。

問 マイナ保険証を持って病院、薬局に行き、カードリーダーでのエラーやカードの期限切れで、診療や薬の処方を受けられない場合の対応と、役場で更新の際の手数料は。

町長 エラーが出たとき一番混乱を招くのは病院ではないかと思われる。病

院でのトラブルは病院側から問い合わせを受け解決している。国の施策のものに対しては町民のサービスに落ち度がないよう一人ずつ丁寧に対応する。期限切れとなった場合の再交付手数料は千円である。

問 このマイナカードには多くの個人情報（病歴や薬の処方、財産等）が蓄積されると考える。令和7年3月からは運転免許証も紐づけされる。マイナカードでのトラブル対応は、町民が一人たりとも心配のないよう進めていただきたい。また、このマイナ保険証登録は解除できるのか。

町長 国がやること町がやることの中に、町民に最大限安心安全に向けて対応するのは当然のこと思っている。また、マイナ保険証の登録解除は申請してから1〜2か月でできる。



総務常任委員会 陸別中学校視察報告

中学校 ICT 教育の 授業視察

総務常任委員会

委員長 濱田 正志

12月19日、総務常任委員会にて中学校のICT教育の視察を行った。

目的はDXが推奨される中、小中学校ではすでにタブレットを授業に取り入れICT化をしている事に対し理解度を深めるためである。

ICTとは情報通信技術の略である。コンピュータを使うだけでなく、ネットワークを活用して情報や知識を供給することも含めた幅広い分野を指す言葉である。

GIGAスクール構想とは、すべての子供たちを1人残すことなく公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するとされている(二斉学習(学校)・個別学習(個人)・協働学

習(グループ))。

陸別中学校では、文部科学省の取り組みであるGIGAスクール構想に基づき令和5年までに整備する予定であったが新型コロナの影響で令和2年に前倒しして導入した。これは十勝管内でもいち早く取り入れたことになる。

これにより小・中学校全生徒に一台のタブレットを貸与することとなった。それと同時に教職員にも1人1台が完備されている。

当日は授業参観も行いどのように使われているか視察を行い、実際に使用しているタブレットを使用し我々も授業で使っている機能を実際に体験してきた。

授業中には病欠中であるが快方に向かつており授業に出たいという生徒に対し授業をオンラインで共有し参加しており(一斉学習)、一つの課題に対し生徒全員で取り組み、その場で共有し一つの画面に生徒全てが同時に書き込むなどの協働

学習による授業の効率化も見て取れた。

1週間の利用時間は約20時間使用しており、授業内容によりばらつきはあるものの1日で3〜4時間は使用している。自宅での利用も30分〜3時間程度の利用が約80%もあり生徒の関心も非常に高く97%が非常に使いやすくなりやすいと言った。不登校対策にも利用できる生徒へのケアも行いやすくなったようである。今は生成AIを取り入れた授業も構想中であり、より先進的な内容を目指すという事もわかった。

ただし、自宅での利用も高いのだが利用時間を守ることが出来ない等、学校教育ではコントロールできない部分もあり課題となることもある。

説明をしていただいた教頭先生からはICTに関しては過去に数校経験しているが、陸別の環境は少人数だからこそ行えるような取り組みもできやすいとし、

ネット回線へのつながりも非常に良好で回線に繋がらずに授業がストップすることもないので、良い環境で利用できているようである。視察を終え、学生の方がICTに関しては進んでいるような印象を受け、子供の時からICTに触れることにより、なお一層に理解が進むと考えられる。我々もDX化に進まなければならないと認識した。ひと昔では考えられないような教育の環境になっており、とても先進的で学力の向上に寄与していると感じられる視察であった。



▲ タブレットを使った授業

産業常任委員会 バイオガスプラント視察報告

全道でも最大級の陸別町
バイオガスプラント視察

産業常任委員会

委員長 工藤 哲男

2022年9月1日、陸別町においてバイオガスプラントが竣工・稼働した。産業常任委員会は竣工以降、閉会中の継続調査物件として委員会を開催し運営稼働状況を検証し見守ってきた経過があることから、竣工以降2年を経過した中で、バイオガスプラント稼働状況を確認するため11月11日に視察調査することとした。

現在、売電事業については、時間当たり720kWの発電をしておりバイオガスプラント利用農家数は19軒20か所となっている。固形糞尿搬入量は1日80t、スラリー（液）糞尿搬入量は1日160tと固形・液状の糞尿合わせて240tを処理している状況にある。液状糞尿の搬入は1台8・

5t積載の大型バキュームタンクローリーにより15回〜18回の搬入となり、他は大型タンプカーによる固形糞尿搬入となる。



▲ バイオガスプラントに糞尿を搬入

搬入されている糞尿は2800〜3000頭弱の乳牛頭数からなり、北海道内におけるバイオガスプラントの規模は最大級の規模となっている。

固形糞尿に関しては、寝藁などが混入されていることから、ミキサーにより粉碎する必要があるが、石・氷等の混入もあり発酵槽へ

の送り込み時に詰まりの原因となるので、目視での確認作業が重要となっている。更に発電効果を発揮させるには固形糞尿・液状糞尿のいずれも水分含量が多い状況になっており水分除去法についても、搬入経費の削減からも構成員の協力を促している状況にある。

本年4月、発酵槽内に厚いスカム（浮遊物）が発生し、発電効率が落ちて対応に苦慮したが、原因と改善策を探りながらの作業・稼働となつている状況にあり、更に、目に見えない雷・電磁波による事故も発電が止まる等の原因となっている。

バイオガスプラントの収入については、発電行為による売電になるが、今以上の売電は考えられないが、発酵槽の発酵熱である余剰熱が夏期間は60℃〜80℃、冬期間は55℃〜70℃と常に発生しており、今後、町、農協更に構成員の負担軽減と余剰熱（余剰エネルギー）の利用方法の協議検討も急

務となっている。

以上、発電効率と施設稼働状況については、概ね順調に稼働している状況であると推察したが、消化液の搬入・搬出に関する作業人材、マンパワーの問題は課題を残すところであり、バイオガスプラントの更なる副収入である余剰熱の利用と、発酵後の残渣、消化液の肥料価値を明確に証明し陸別町の新たな産業を考えるために直ちに検討・協議することの必要性を感じるものである。



▲ 町内の参加農家から集められた糞尿

東京陸別会に出席して

報告者

副議長 中村 佳代子

11月16日（土）、東京都内の全国町村会館にて第20回東京陸別会総会・交流会が開催され陸別から本田町長、久保議長、石橋商工会長、丹崎総務課長、濱田議員の6名で出席しました。東金市からは関寛斎顕彰会の方々、酒々井町からは副町長、議長、教育長ら7名が来賓として出席されました。冒頭、宮崎民雄東京陸別会々長の挨拶で、高齢化に伴い会員が減少する中、今年度、会の存続の有無も含めてアンケートをもとに検討してきたことを話され、この度、友好町民の会や、しばれフェスティバル、サマーンに携わってきた電機連合関係の方たちに新たに会員となつて頂き、役員も

若返りを図つたということ、参加者も70名程となり、とても賑やかで楽しい会となりました。

鈴木宗男参議院議員も駆けつけてくださり、エネルギーシユなトークで場を盛り上げて下さいました。

交流会では、陸別の昔のお祭りの話や商店、飲食店の話で盛り上がり懐かしみました。

皆さん、口々に陸別に訪れてみたいと仰つていて、故郷に思いを馳せていました。

いつも陸別のことを気にかけていて、最近の様子をインターネットで検索しているのもつ

と町のことを発信して欲しいとの意見もあり、陸別に住む私たちが遠く故郷を思う方たちに出来ることもあるのだと気づきもありました。

最後は全員で「ふるさと」を合唱し、来年もまた逢えることを誓い閉会しました。



▲ 陸別の話で盛り上がった交流会

令和6年度 各会計補正予算

会計名		補正額	総額
一	一般会計	2,461万円	52億 1,318万円
特別会計	国保事業勘定	△ 0.4万円	3億 3,165万円
	国保直診施設勘定	△ 46万円	4億 0,941万円
	介護保険事業勘定	159万円	3億 4,847万円
事業会計	簡易水道事業	367万円	3億 2,589万円
	公共下水道事業	△ 1万円	2億 2,114万円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
12月定例会（12/10～12/11）	
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町保健センター条例の一部を改正する条例	可 決
● りくべつ宇宙地球科学館条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町銀河の森コテージ村設置条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例	可 決

議会の動き

【11月】

11日 産業常任委員会

【12月】

6日 議会運営委員会

議員協議会

10日 12月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

11日 12月定例会

議会運営委員会

（広報編集会議）

19日 総務常任委員会

【1月】

15日 議会運営委員会

（広報編集会議）

議会とお話し

しませんか

23日 議会運営委員会

第1回臨時会

議員協議会



「議会とお話し」

しませんか

議員のなり手不足解消に向けた取り組みとして、町民の方々とお話をする機会を設けました。

多くの町民の皆様と、陸別町のことをお話ししたいと思っておりますので、お気軽にお越しください。（開催日時等は、回覧板で周知します）

次回の定例会は3月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会
ホームページ
のご案内

【陸別町議会ホームページ】
<https://www.rikubetsu.jp/gikai/>